

# 教師ノート

日付	2015年10月11日
単元	分裂王国時代
テーマ	神様は素直に従う者を祝福して下さる
タイトル	将軍と少女(預言者エリシャ)
テキスト	Ⅱ列王記 5:1-19
参照箇所	Ⅱ列王記 2章(エリヤからエリシャへの継承)
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	ヤコブ 4:10
AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)	

## □導入

エリヤもやがて神様の元に帰る日が近づいていました。神様はエリヤの次に預言者の働きを引き継ぐ人を選んでおられました。それはエリシャです。今日は預言者エリシャの時にあったお話をしましょう。

## □ポイント1 ナアマン将軍は重い病気で苦しんでいました

イスラエルの隣にあるアラムという国にナアマンという将軍がいました。ナアマンはとても勇敢な人で王様から重んじられ人々からとても尊敬されている人でした。ところが、ナアマンはとても重い皮膚病にかかって苦しんでいたのです。どんなお医者さんも、どんな薬でも治すことができませんでした。

ナアマンの家にはイスラエルから連れてきた召使の女の子がいました。女の子はご主人を心配してナアマンの奥さんに言いました。「ご主人がイスラエルにいる神の預言者の所に行かれたらきっと治していただけるでしょうに」

奥さんはそのことを将軍に伝えました。そこでナアマンは早速出かけることにしたのです。この苦しい病気が治るならどんなことでもしたいと思いました。ナアマンは王様の許しをもらって家来を引き連れてイスラエルに向かって出かけました。

④(1)「ツアラアト(※らい病)」…新改訳聖書第二版まで「らい病」と訳されている言葉は第三版において原語の「ツアラアト」に置き換えられている。今日「らい病」は「ハンセン氏病」を指す言葉として一般的になり、聖書の「ツアラアト」とは別のものであると考えられるからである。本課では新共同訳で使用されている「重い皮膚病(重い病気)」を採用した。

④(1)「アラム」…ダマスコ周辺、イスラエルの近隣に古くからある小国群一帯を指す異邦人の国々。イスラエルと争いを繰り返していたが、当時はイスラエルと友好的な関係にあったようである。いずれにせよ、どの国の人であれ真の神を仰ぎ見、信頼する者の上に神の恵みは注がれる。

## □ポイント2 エリシャはナアマン将軍にヨルダン川で7回体を洗うように命じました

何日も旅をしてついにナアマンは預言者エリシャの家の前に着きました。「アラムから来たナアマンです。預言者のエリシャさんはいらっしゃいますか？」ナアマンはエリシャがいつ出てきてくれるのだろうと待っていました。ところがいっこうに出てきません。すると、家の中から一人の召使が出てきて言いました。「エリシャ様はヨルダン川に行ってあなた様の体を七回洗うように言っておられます。そうすれば病気は治るということです。」

ナアマンはとっても不機嫌になりました。エリシャが直接出迎えて治してくれると思っていたのです。「なんてことだ！ 遠くから訪ねてきた者に対して失礼じゃないか！ しかもあの汚いヨルダン川で体を洗えだど？ 私の国のアラムにはもっときれいで立派な川があるじゃないか！」ナアマン将軍はかんかんです。

すると家来たちがなだめて言いました。「将軍様。せつかく来たのです。難しいことではないのですから試しに入って見られたらいかがでしょう」

☞ エリシャが直接ナアマンに会わなかったのにはいくつかの説があるが、ナアマンは預言者エリシャに期待してイスラエルまでやって来たのに対し、エリシャは治して下さるのはまことの神であることを気付かせるためではなかったかと考えられる。

### □ポイント3 エリシャに従ったナアマン将軍は病気が完全に治りました

「それもそうだな…」ナアマンは家来が言う通りエリシャの言葉に従うことにしました。ナアマンは立派な服を脱いで川の中に入りました。そしてエリシャに言われたように体を水の中に沈めました。一回、二回、三回…六回、七回。そうして川から上がるとどうでしょう！ なんと、ナアマンの体はエリシャの言葉通り完全に治っていたのです！

ナアマンは急いでエリシャの家に引き返しました。そしてエリシャに言いました。「あなたの神様以外に本当の神様はおられないことがよくわかりました。私はこれからは本当の神様だけを信じて礼拝します！」エリシャもそれを聞いて喜びました。ナアマン将軍はこうしてまことの神様を信じて喜んで帰って行ったのです。

☞ 少女、ナアマン、エリシャ、家来のやりとりを簡単なスキット(小劇)にして演じてみるのも面白い。現代版にアレンジすることもできるだろう。

### □結論 神様は素直に従う者を喜んで祝福して下さいます

#### □適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

1. あなたが交番で道を聞いたとしましょう。もしあなたがお巡りさんの言うことを信頼して素直に言われた道を行けば目的地に着くことができるでしょう。でも、もしあなたがお巡りさんの言葉を信じないで自分の思う道を進んで行ったらどうなるでしょう。神様も私たちが素直に神様の言葉に従うことを喜ばれるお方です。あなたは神様の前に素直な心でしょうか？ 頑固になっていることはありませんか？
2. 神様は一人の小さな少女を通してナアマン将軍の病気がいやされ神様を信じるために用いられました。神様はどんな小さな者をも用いて下さるのです。あなたも神様に従っていく時用いていただくことができます。